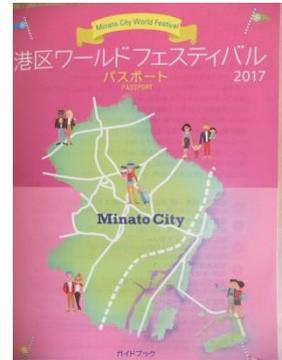


# 寅さん歩 その11

## 江戸・東京の祭-53

(新しい祭-11)



平野 武宏

[港区ワールドフェスティバル 2017]

～大使館周遊スタンプラリー その1～



多くの外国人が住み、約80の大使館が立地する国際色豊かな街 港区主催の大使館周遊スタンプラリーに3年連続の参加です。港区役所で参加パスポート(表題右の写真)を入手しました。平成29年(2017年)1月13日～3月20日に参加35ヶ国の大使館を選んで訪問、普段は立ち入れない大使館内に入ることが出来ます。

2015年・2016年に訪問していない国を中心にスケジュールを考えました。訪問は事前予約の要・不要、人数定員の有・無、日時指定、曜日指定、訪問可能の日の回数も大使館によりさまざま、廻るエリアも考慮した効率良いスケジュールのコースづくりは頭の体操になります。

事前予約は1月6日から始まっていたそうで、訪問日が1回しかない大使館は1月13日の時点で定員満員、予約は訪問日の3週間前ですが、10時の受付開始では電話が殺到し、なかなか通じず、苦労しました。

大使館に到着したら、受付に設置のスタンプをパスポートに押します。獲得スタンプ数によって3月26日開催の港区ワールドフェスティバルで抽選が出来る仕組みです。

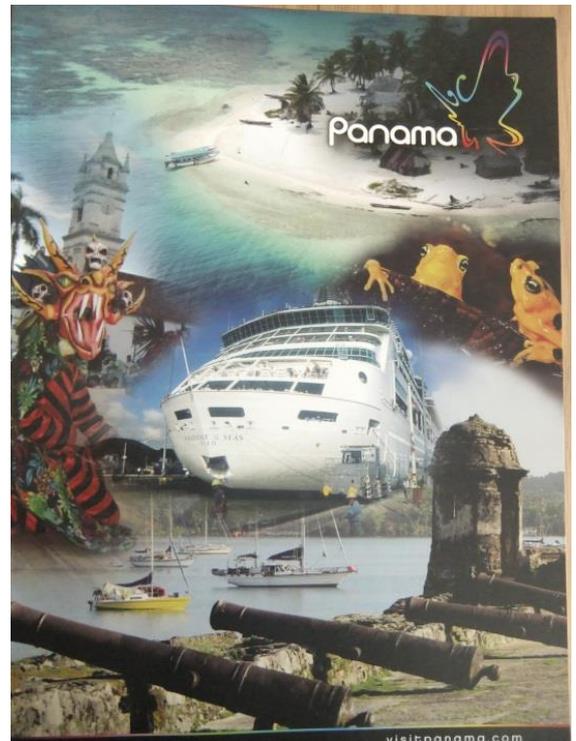
最寄り駅は代表例です。

# [パナマ共和国大使館]

東麻布 2-21-7 最寄駅 大江戸線 赤羽橋駅



中之橋出口から東麻布商店会の二本目を左折した Samon Building 2F が受付です。説明はありませんが、パナマの各種資料をいただきました。



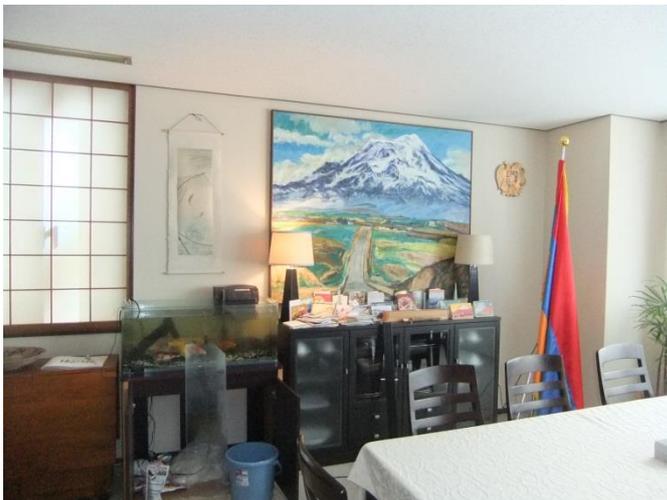
パナマと言えば太平洋と大西洋を結んだパナマ運河の存在しか知りませんでした。昔から陸路で北アメリカと南アメリカを行き来した人々・動物・植物や文化の流れがあること、先住民族が生き延び、ユネスコ文化遺産が多く残された国立公園があるのを知りました。

首都パナマシティは近代的な国際金融都市となっています。

## [アルメニア共和国大使館]

赤坂 1-11-36 Residence Viscountess #230

最寄駅 南北線 溜池山王駅



国旗が出ていない  
マンションなので  
苦労して見つけま  
した。アメリカ大使  
館が近いのでお巡  
りさんに聞くと、皆

違っていました。クロネコのお兄さんに聞いたのが大正解でした。

南コーカサスに位置し、東ヨーロッパに含められることもあり、黒海とカスピ海の間であり、西にトルコ、北にジョージア(旧グルジア)、東にアゼルバイジャン、南にイランとアゼルバイジャンの飛地のナヒチェヴマン自治共和国に接しています。首都エレバンは世界最古の都市のひとつのこと。紀元前6世紀頃には国際的な商業活動が盛んに行われていたそうです。

紀元前1世紀には大アルメニア王国を築き繁栄しました。その後はローマ帝国、ペルシャ帝国、オスマン帝国、ロシアなどの大国に翻弄され、1991年ソビエト連邦から独立しました。

## 〔ホンジュラス共和国大使館〕

西麻布 4-12-24 第38興和ビルディング 802号室  
最寄駅 大江戸線 六本木駅

六本木通り西麻布交差点から渋谷方面への坂の途中にある12か国の大使館が入っている大使館ビルです。ビルの脇には入居の国の国旗が並んでいます。渋谷駅からのバスだと南青山七丁目下車で西麻布交差点方面に右側の道を行きます。



写真上は大使館入口ドアとオフィス受付です。

中央アメリカ中部に位置し、グアテマラ、エルサルバドル、ニカラグアと国境を接しています。「ホンジュラス」は英語読みでスペイン語では「オンドゥラス」と発音とのこと。

1502年コロンブスがこの地に上陸しようと船の碇を降ろしたが海底まで届かなかったため、この地を「オンドゥラ＝スペイン語で深さ・深いの意味」と名付けたと言う説が有名とのこと。

1823年スペインの植民地から独立、中央アメリカ連邦共和国に加盟しましたが、1838年ホンジュラス共和国として独立。

1,000mの高地で栽培されているホンジュラスコーヒー豆やカカオ豆（チョコレートの原料）が有名とのこと。

先日、TVニュースでチョコレートを食べたことのない貧しい現地のカカオ生産者達にカカオ品質の向上を指導、カカオを高く購入しようと努力しているホンジュラス出身の女性の話がありました。

## 〔国際機関 日本アセアンセンター〕

新橋 6-17-19 新御成門ビル 1F 最寄駅 三田線 御成門駅

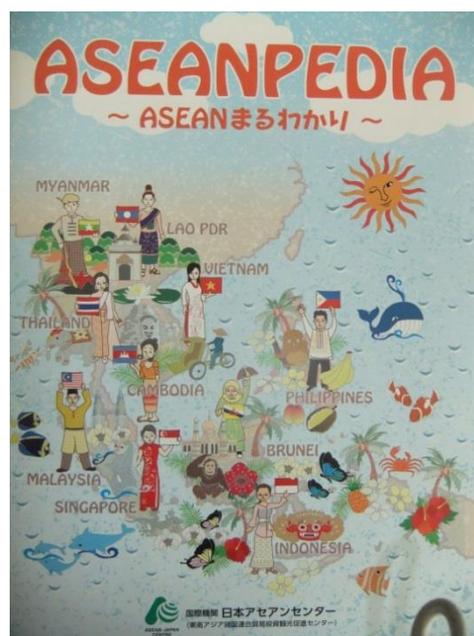
正式名称は「東南アジア諸国貿易投資観光促進センター」で大使館ではありませんが、今回のワールドフェスティバルに初参加です。慈恵医大病院方面改札を出てA4出口を上行くと目の前にあります。



日本アセアンセンターは1981年5月25日に当時のASEAN加盟国（原加盟国：インドネシア、マレーシア、フィリピン、シンガポール、タイ）政府および

日本政府が「東南アジア諸国貿易投資観光促進センター設立協定」に署名、設立された国際機関です。

後にブルネイ、ベトナム、カンボジア、ラオス、ミャンマーが協定に加盟し、現在はASEAN10カ国および日本がメンバー国になっています。



### 【日本アセアンセンターのミッション】

- ASEAN 諸国から日本への輸出の促進
- 日本と ASEAN 諸国との直接投資の促進
- 日本と ASEAN 諸国との観光の促進
- 日本と ASEAN 諸国との人物交流の拡充

今回の掲載は今までに訪問していない大使館です。

訪問済の大使館は次を参照ください。

2015 年の大使館めぐり

寅さん歩 その 11 江戸・東京の祭-15(新しい祭-2)

2016 年の大使館めぐり

寅さん歩 その 11 江戸・東京の祭-39(新しい祭-5)

江戸・東京の祭-40(新しい祭-6)

江戸・東京の祭-42(新しい祭-7)

江戸・東京の祭-44(新しい祭-9)

## 【こぼれ話】寅次郎と女性

愛読者の川柳王に「寅さん歩 おんなの影が見当たらず」と詠まれてしまいました。映画「男はつらいよ」の寅次郎は毎回、旅先や柴又で出会う女性（マドンナ）に一目ぼれ、マドンナも寅次郎に好意を抱くのですが、最後は振られてしまい、落ち込んだ寅次郎は再び旅に出て行くという笑いと涙のストーリーです。寅次郎がマドンナと結ばれてしまったら作品は 48 作も続かないし、渡世人の寅次郎は自ら身を引いて、振られた振りをしているのだと思いました。



会社生活を卒業した後、映画の寅次郎の生き方には多くの学ぶところがあると気づきました。自然体の生き方、学歴・肩書きなど少しも気にせず、時間をたっぷり持ち、自分の出来ることがよくわかり、一生懸命に本気で一緒に

悲しみ・喜ぶ姿。弱い者の味方、特に女性の弱みには付け込まない。いつも人の役に立つことを考え、自分の出来ることを実行していく。

お金には無頓着、お金を稼ぐのが目的ではなく、楽しく生きることが第一。旅先でのさりげなく、しつこくない人々（特に女性）との出会い・ふれあいのトークやコミュニケーションは人生の先輩として、生き方や男としてのあり方を教えてもらっています。映画の寅次郎は今でも私の心の中にいて、一緒に歩いているのです。

ウォーキングには多くの土地や人との「出会い」や「ふれあい」があります。ウォーキングにはまり、全国を歩きまわり、映画の寅さんのようだとわれわれ「平野寅次郎」のペンネームでウォーキングの楽しさを伝えたいと紀行文を書き始めました。全国歩きを卒業し、終の棲家の東京に移住、移住者の目で見えた東京の魅力を伝えたいと始めた「寅さん歩」にも「出会い」や「ふれあい」は沢山あります。親切で優しい寅次郎、人との「出会い」や「ふれあい」はプライバシー面を配慮し、意識して登場させていませんので、あしからず・・・

港区の大使館めぐりはまだ続きます。

次回は 東京に こんなところ-12 です。

平野 寅次郎 拝